

Spreading Wings and Waves of Peace: Past, Present, and Future

平和の翼と波を広げる ー現在・過去・未来ー

長崎大学・国際基督教大学共同研究シンポジウム

2019年12月7日（土）

国際基督教大学三鷹キャンパス



<基調講演> M・ウィリアム・スティール

<現在の課題> グローカリゼーション研究と持続可能な開発 葉柳和則／毛利勝彦／高松香奈

<過去の記憶> 長崎歴史文化研究と世界遺産 才津祐美子／高崎恵／マーク・ウィリアムズ

<未来へのシナリオ> 平和研究と軍縮教育 中村桂子／青木浩幸

<総括講演> 首藤明和

使用言語：日本語 事前登録：不要

主催：国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科／アジア文化研究所／平和研究所

共催：長崎大学多文化社会学部／大学院多文化社会学研究科／核兵器廃絶研究センター



国際基督教大学
INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY



Spreading Wings and Waves of Peace: Past, Present, and Future

平和の翼と波を広げる —現在・過去・未来—

長崎大学・国際基督教大学共同研究シンポジウム

2019年12月7日（土）

国際基督教大学三鷹キャンパス

趣旨

長崎大学と国際基督教大学のキャンパスには、第2次世界大戦末期に軍事施設があった。爆心地にも近い長崎大学文教キャンパスには、日本海軍による真珠湾攻撃に使用された高性能な魚雷を製作していた三菱長崎兵器製作所大橋工場があった。国際基督教大学三鷹キャンパスには、真珠湾攻撃の日に建設着工された中島飛行機三鷹研究所があり、アメリカ本土攻撃のための戦略爆撃機の研究開発がなされた。

かつて戦いのための兵器を作っていた両大学のキャンパスでは、戦後は平和の翼と波を広げる若い世代を養成している。両大学は包括的連携協力に関する協定（2019年3月締結）に基づき、平和の現在、過去、未来を探究するための共同研究プロジェクトを開始した。それぞれ現在の課題としてのグローカリゼーション研究と持続可能な開発、過去の記憶としての長崎歴史文化研究と世界遺産、未来のシナリオとしての平和研究と軍縮教育の3分野に焦点を当てた公開シンポジウムを開催する。

主催：国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科／アジア文化研究所／平和研究所

共催：長崎大学多文化社会学部／大学院多文化社会学研究科／核兵器廃絶研究センター

プログラム

12月7日（土）	
会場：大学本館 H-315 教室	
8:50~9:00	「開会挨拶」海蔵寺大成（国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科長・教授）
9:00~10:00	「基調講演 地球的危機を乗り越えるための行動アジェンダ—ICU と長崎大学の現在・過去・未来との対話」M・ウィリアム・スティール（国際基督教大学名誉教授）
10:00~10:10	ブレイク
<現在の課題> グローカリゼーション研究と持続可能な開発 司会・討論 首藤明和（長崎大学大学院多文化社会学研究科長・教授）	
10:10~11:00	「軍艦島のグローカリティ—意味づけの政治を軸に」葉柳和則（長崎大学多文化社会学部長・教授）
11:00~11:50	「壱岐市 SDGs 未来都市計画のグローカリゼーション」毛利勝彦（国際基督教大学教養学部教授）
11:50~12:40	「地域農業の持続可能性とジェンダー分析」高松香奈（国際基督教大学ジェンダー研究センター長・上級准教授）
12:40~14:00	ランチ
<過去の記憶> 長崎歴史文化研究と世界遺産 司会・討論 佐藤豊（国際基督教大学アジア文化研究所長・教授）	
14:00~14:50	「『潜伏キリシタン関連遺産』世界遺産登録の影響と今後の課題」才津祐美子（長崎大学多文化社会学部准教授）
14:50~15:40	「キリシタンを語る言葉の変遷と競合—世界遺産登録と学術研究」高崎恵（国際基督教大学アジア文化研究所研究員）
15:40~16:30	「遠藤周作『沈黙』とその映画化—スコセッシ監督が直面したさまざまな課題」マーク・ウィリアムズ（国際基督教大学国際学术交流副学長）

12月7日(土)

会場：大学本館 H-304 教室

<未来へのシナリオ> 平和研究と軍縮教育

司会 笹尾敏明 (国際基督教大学平和研究所長・教授)

討論 吉田文彦 (長崎大学核兵器廃絶研究センター長・教授)

14:00~14:50	「軍縮・不拡散教育の可能性と課題—国連機関における実践例から」中村桂子 (長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授)
14:50~15:40	「学校教育における平和と実物教材の役割」青木浩幸 (国際基督教大学教養学部助教)
15:40~16:30	「総括講演 21 世紀のリベラルアーツ—時間の意味論からの課題と展望」・「閉会挨拶」首藤明和 (長崎大学大学院多文化社会学研究科長・教授)